

Ledkaiser zoom 防水LEDズームライト

保証書付取扱説明書



型番：LHA-KS421ZI-S

商品番号：07-6482

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この説明書には、安全にお使いいただき事故を未然に防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。なお、お読みになられた後はご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

警告

- フラッシュモードでは絶対に人の目に向けない。
- 光をのぞきこんだり、ほかの人の目に当たったりしない。
- 本品は水中用ではないので、水中で使用しない。
- 電池蓋は必ずしっかりとしめる。しめていないと防水性能が損なわれます。
- 本品に衝撃を与えたり、無理な力を加えない。
- 本品を分解したり改造したりしない。
- 古い乾電池と新しい乾電池、または異種の乾電池を同時に使用しない。乾電池の発熱・破裂・液もれの原因となります。
- アルカリ乾電池を使用すること。マンガン乾電池の場合、点灯しない場合があります。また、充電式電池の場合、明るさや電池寿命が低下したり寸法により使用不可場合がありますので事前に確認してください。

注意

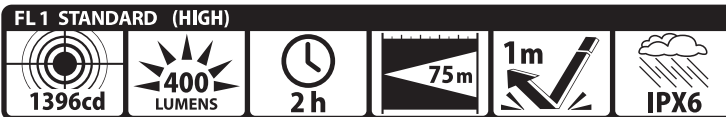
- LEDの特性上、光の色や明るさにバラつきが出る場合がありますのでご了承ください。
- LEDは交換できません。
- 以下のことを守らないと、電池の液漏れなどの原因となります。
 - 乾電池の仕様表示に従って正しく使用する。
 - 乾電池は必ず⊕⊖を本品に正しく使用する。
 - 定期的に点灯、点検をする。
 - 長期間使用しないときは、必ず乾電池を取り出して保管する。
 - 使い切った乾電池はすぐに取り出す。
 - 電池交換の際は2本同時に交換する。
 - 電池の容量が少なくなるとLEDにチラツキがでます。乾電池をお取替えください。
 - オキシライド系乾電池のように初期電圧の高い乾電池のご使用はお避けください。故障の原因となります。(オキシライドはパナソニック(株)の登録商標です。)

仕様

| | |
|--------|--|
| 電源 | 単4形アルカリ乾電池 2本 (動作確認用電池付) |
| 光源 | 白色系 LED 1個 (LED 交換不可) |
| 最大消費電流 | 約 1500mA |
| 連続使用時間 | 明るさ 10%まで：約 2時間 HIGH(ハイ)モード *1 約 8時間 MID(ミドル)モード *1 約 27.5時間 LOW(ロー)モード *1 |

| | |
|----------|--|
| 連続使用時間 | 明るさ 5lm まで：約 3.5時間 HIGH(ハイ)モード *1 約 13.5時間 MID(ミドル)モード *1 |
| 光束 | 約 400lm (ルーメン) *2 |
| 照射距離 | 約 75m *3 |
| 保護等級 | IPX6(耐水形) *4 |
| 質量 | 約 55g (電池別) |
| 外形寸法 (約) | 外径 22.5mm x 全長 139mm (クリップ除く) |
| 付属品 | 単4形アルカリ乾電池 x 2本・ストラップ |

- *1. 未使用・新品のアルカリ乾電池使用時
- *2. 簡易的に本体照明部分を積分球に入れ、新しい乾電池で実測した数値
- *3. 照射距離は理論値であり、HIGHモードでの満月時の月光 0.25lux を照らすことのできる距離です。ただし実際の使用場所の温度・湿度やその他の環境条件によって誤差があります。同じ条件でもレンズや反射鏡(リフレクター)等の個体差によっても誤差があります。
- *4. 噴流に対して保護する。あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。(JIS C0920:2003による。)

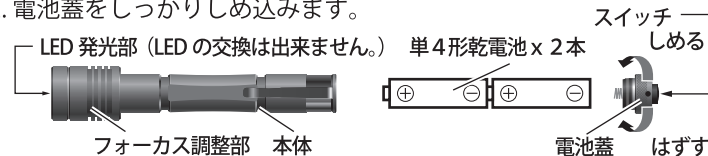


FL1 STANDARD とは：アメリカの可搬型照明器具標準基準 ANSI/NEMA FL1-2009 が定めた測定方法で性能評価をした、性能表示規格です。

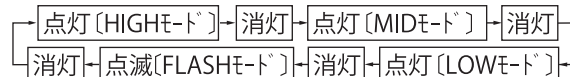
電池の入れ方およびご使用方法

《電池の入れ方》

1. 電池蓋を外して単4形アルカリ乾電池2本を⊕⊖正しくセットします。
2. 電池蓋をしっかり締め込みます。

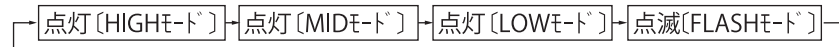


- ◎スイッチを押すと、下記の順序で切り替わります。



注) 消灯後3秒以上経過しスイッチを押すとHIGHモードで点灯します。

- ◎点灯しているときにスイッチを半押しすると、下記の順序で切り替わります。



- ◎フォーカス調整部を引っ張るとズームイン、元に戻すとズームアウトできます。

濡れた状態ではフォーカス調整部を操作しない。
水の侵入により故障の原因となります。

